

龍ヶ崎ゲヴァントハウス NPO法人認定記念

## 講演とコンサート

# 歴代の名手による“シャコンヌ”を通して バッハ演奏の深淵に迫る

当会は毎月定例CDコンサートを開催してクラシック音楽の普及に努めてまいりました。この度、この活動が評価され、“NPO法人 龍ヶ崎ゲヴァントハウス”として再スタートすることになりました。つきましては倍旧のご支援よろしくお願い申し上げます。

今回は、NPO法人認定を記念いたしまして、日本の音楽・オーディオ界の第一人者であります新忠篤先生をお招きし、講演とコンサートを行います。新先生は月刊「ラジオ技術」及び季刊「管球王国」等に執筆され、オーディオ界では特にその名を知られた存在であります。今年3月の「レコード芸術」誌でも紹介され、音楽ファンの間でも話題となっております。

今回のプログラムは、ヴァイオリン作品のバイブルと言っても過言ではない、バッハの無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番の「シャコンヌ」を取り上げ、歴代のヴァイオリニストによる演奏の違い、ピアノとギターによる楽器の違いで、この曲の持つ魅力の深淵に迫ります。また、残された時間を使いましてお聴き頂く、ご自身の豊富なライブラリーの中から選曲された、シモン・ゴールドベルクとハリー・クラウスによるモーツァルトのヴァイオリン・ソナタ、エリーザベト・シューマンのソプラノによるモーツァルトの「子守歌」も魅力の作品です。音楽とオーディオ双方に通暁した新先生ならではの貴重な講演&コンサートをご期待ください。

\*\*\*\*\*

日 時：2013年6月29日(土) 午後2時～午後4時30分

場 所：龍ヶ崎ショッピングセンター「リブラ龍ヶ崎」2階旧映画館

講 師：新 忠篤氏 (オーディオ研究家、元フィリップスレコード・オランダ本社副社長)

テーマ：歴代の名手による“シャコンヌ”を通してバッハ演奏の深淵に迫る

—— 休憩10分 ——

### プログラム

**バッハ：無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番ニ短調BWV.1004～シャコンヌ**

イゾルデ・メンゲス (Vn) (1924年機械式録音) 一部

アドルフ・ブッシュ (1929年SP録音) 一部

ナタン・ミルシテイン (Vn) (1935年SP録音) 一部

ジヨコンダ・デ・ヴィトー (Vn) (1947年SP録音) 全曲

アルフレード・カンポーリ (Vn) (1948年SP録音) 一部

巖本真理 (Vn) (1949年SP録音) 一部

ジオルジユ・エネスコ (1949年LP録音) 全曲

ジノ・フランチェスカッティ (Vn) (1952年LP録音) 一部

フェルツィョ・ブゾーニ (P) (1914年ピアノ・ロール録音) 一部

アンドレス・セゴビア (G) (1947年SP録音) 一部

**モーツァルト：ヴァイオリン・ソナタ第36番変ホ長調K.380～第2楽章**

シモン・ゴールドベルク (Vn) / ハリー・クラウス (P) (1937年SP録音)

**モーツァルト：子守歌K.350 (B.フリースの作曲)**

エリーザベト・シューマン (Sop) / オーケストラ伴奏 (1930年SP録音)